

## あけましておめでとうございます。

服部新聞を読んでいただきまして、ありがとうございます。本年も今までどおり木材の事を正確に伝えようと思っております。宜しくお願い致します。アンケートの欄外に色んなご意見を、どしどし書いて下さい。

私も知らない事は山の様に有ります、私は材木業者として、本音で活動しています。お施主さんはこういう要望が有り、建築士様も色んな考えをお持ちだと思います。それを、お互い出し合ったら、何の情報不足しているかが解る筈です。それを一つ一つ検証していく事により、木材の良さがご理解され、より良き生活環境が、日本中に出来上がったなら嬉しいなと思っている次第です。

## 頑張れ日本 良い赤字と悪い赤字

右記の記事は平成18年12月22日の読売新聞に掲載されていた物ですが、この記事の裏話的な事を、服部が知っている範囲内の事で、御知らせします。

この記事に東大演習林は日本全国に七ヶ所あり、北海道が一番の面積を占めると書いてあります。今政府が財政赤字の為に所謂、聖域なき財政改革を進めると色んなマスコミで取り上げ色んな改革を進めようとしています。しかし赤字と新聞紙上に大きく書かれると私達プロの木材業者は見出しだけを読む方に変な誤解を与えるので心配します。(赤字は書かないで欲しい)

この東京大学の事業は、特別な意味を持っていると私は聞いております。それは今までの日本の林業政策の失敗を繰り返さないために色んな実験を繰り返し行っている事です。

ところで、奈良県の林業試験場は、国の財政赤字の為に政策つまり歳出削減の余波を諸にうけています。日本の間違った森林政策は、10年や20年では元に取り戻せません。100年から200年掛かる話しです。既に森林(もり)と呼べない森林が日本全国に多く有りそれを健全な森林(もり)(参考1下記)に戻すためには、そこに育成している杉・桧を伐採し利用するしか方法がないのです。それを研究しているのが奈良県の林業試験場みたいな施設で、東京大学の演習林は、伐採した後、森林をどういう形にすれば、良いかを研究しているのです。

石油・天然ガスの事で、ロシア等の国が資源ナショナリズムの政策を取ろうとしている時代です。木材資源も同じ方向で動いています。だから日本の林業の研究に携わる人達を、もっと応援する必要があるのではないのでしょうか！

私は読売新聞の中身全体を読み、全てのことを理解しているから、この記事に対して抵抗感はありませんが、しかし一般庶民の方の反応は赤字だったら、辞めてはと思わないか、私は危惧します。

東京大学にて論文偽装にて、問題になっていますが、東京大学演習林に携わっている先生方は、本当に苦労している事を、我々木材に携わる者は、知っております。頑張ってくださいとエールを送ります。

(参考1)

『健全な森林』とは、雨が降れば、適度に雨水を蓄え、降らなければ蓄えている水を、適度に放出する事が出来る森林を言う。欧米の考え方では、森林は毎日活動し、日々成長しています。その恵み、所謂成長分だけを、伐採し人間が、過度に手を入れていない森林の事です。若い木から歳を召した木迄、樹齢が様々な木が有る森林の事を言います。



# 木材表示の話し第二回

## (等級編) グレーディング (中級～上級レベル編)

### 1、原木編

日本に輸入された北米針葉樹の代表的なスプルース原木の現地等級は、各商社とも買い付け時の等級は、現地シッパーが同じなら、ほぼ同じ仕分けになっています。しかし日本に輸入されると、各商社によってバラツキがあります。そのバラツキは、同じ産地の同じグレードでも発生します。例えばアラスカの木材会社シーアラスカ社のハイソートの中でも、特に良い原木の等級付けはバラツキは少ないですが、その下の等級からは、バラツキは、かなり有ります。と言う事は原木の等級付けは本当に難しく、誰がやってもバラツキが発生するものなのです。日本の国有林の針葉樹原木も広葉樹原木も等級のバラツキはあります。バラツキが有って当たり前なのが原木です。

### 2、製品編

北米針葉樹のスプルースの現地挽きのフリッチ (所謂盤) は、節の事でグレード分けは行われていますが、『アテ』はグレード分けの物差しには、なっていません。しかし南洋材の針葉樹の代表的な樹種、アガチスは『アテ』がグレード分けの一番の要素です。それでは何の理由で南洋材は、アテがグレード分けの要素になったのでしょうか？その理由は、日本人が教えたのです。アテは一般的に無節です。パットミー美しく見えますが、小割りすると曲がってしまいます。私がインドネシア・マレーシアに行ったとき (約 15 年位前)、既に現地の華僑はアテがグレード分けの第一の要素になっていました。現地の方と通訳の会話にも、英語の話しで、『アテ』と良く出てきた事を記憶に思い出します。(つまりインドネシア・マレーシアでは日本語のアテは英語として通じていました。)

しかしアメリカ人は日本人に買ってもらっているとは、考えておりません。売ったっているとしか考えておりませんので、グレード分けの要素にアテは存在しないのです。

### 3、応用編 1、

樹種によって、欠点はそれぞれ違います。例えば、アテは針葉樹にも広葉樹にも存在しますが、針葉樹の方がもっとも、使い方を考えなければならないのです。広葉樹の場合アテは比較のおとなしいのです。使い方を針葉樹ほど気にしなくてよいのです。

お寺等は昔から現在まで、多く桧が主に使われてきましたが、それではアテを外して使ってきたのでしょうか？そうでは有りませんね。アテの良さは何なのかを、はっきり掴み、それを適材適所に使ってきたのです。そうした使い方をしたお陰で、2000 年も持つ法隆寺等が出来あがったのです。(アテは強度的に強いのです。)

どんなに良い原木でもアテは存在します。そして使い方は、アテは巾を要求される部材に使います。アテ側は少し目荒になりますが、強度は強くなります。アテの無い側は目は細かく、小割りしても曲がらず建具等の用途に使います。

### 4、応用編 2、木材を安く買うためには、最終的には、如何にしたら良いか？

それは適材適所に使って頂く事です。そうすれば安く買えるのです。例えば内装材の用途で、図面にラッカー下地 (ペン下) とうたわれている部材がよく有ります。ペン下なら、多少の目流れ、多少のテカ等の欠点は使える筈です。又高級材の部類の障子等の和室内装は目の細やかな良質材が必要です。そう言う使い方をして頂く事が、木材を安く買うための要素になるのです。色んな用途にお使い頂く事が大事な事なのです。

日本人の 2000 年の歴史と現代人の要望は、決して相容れないものでは有りません。効率良く木材資源を使う事が、結局は安い買い物になるのです。

## 日本人の衣・食・住とは本当に正しいのか

人の生活には『衣・食・住』と三つの要素が有ります。その中で消費者が一番敏感なものは、食べ物です。現在全ての食品に、原産地、生産者、農薬等の情報を我々消費者に何時でも解るようにしようとしています。そして本物が見直される世の中に変わろうとしています。我々消費者は、安い食材より安心な食材を選ぶ様になっています。

しかし人の健康に易しい農業の方法は有機農法だと思われている方が、まだ大多数だと思いますが、私も一年前はそうでした。しかし木材の勉強をやっていると農業と何か共通の物があるのではと思い勉強しました。そして共通なものを見つけました。それが温故知新と言う考え方でした。

この農業の温故知新の考え方は、無肥料栽培という方法です。この方法が従来の栽培と全く違うのではなく、日本では弥生時代からやってきた農業の延長線にあるのです。(木材の温故知新は無垢を使う事)

実際に今後も従来の栽培方法を行っていくと世界人口の食糧をまかなえなくなる恐れが有るのです。その理由は土壌の荒廃が主たる問題だからです。世界の耕作地のうち20億ヘクタール(アメリカとメキシコを合わせた面積より広い)が中程度から重度の土壌劣化の影響を受け一年間に500万ヘクタール以上が砂漠化しています。今まで繰り返してきた増収技術の、肥料、除草剤、農薬の乱用が原因となって風雨や地下水位の低下、土壌浸食、塩害が進み、益々土壌劣化が進行すると懸念されているからです。この方法は作物栽培において、大自然の生理生態系と、その土本来の偉力(機能)に着眼し無農薬で栽培する手段です。勿論除草も、耕起、管理は行います。(放任農法では有りません)無肥料栽培で野菜・米を作るには、人件費等のコストが余分に掛かります。値段に直すと30~50%以上高く付くでしょう。しかし左記にも述べましたが、一度荒廃した田畑を元に戻す費用と比較すると、どれだけライフサイクルコストが安く付くか想像も付きません。(参考2ページ下・無肥料栽培)

スーパーの売り場で、有機栽培と無肥料栽培の食材が販売されるとすれば、売れるのは、安心出来る無肥料栽培の食品だと思います。多分値段が高くて売れると思います。(食べる物は何か良い品物で有れば、値段の高い物は受け入れられるのです。

食べる物に継ぐ二番目に大事な『住』は何で疎かにするのでしょう。何故、食べ物と同じように扱わないのでしょう。

**家は車と違い学習チャンスが大多数の人は一生に一回しかない本当に高い買い物です！**

しかし建築物(家作り)はコスト優先になっています。化学物質過敏症等は、極一部のしか発生しないと思われているようですが、この問題についてのデータの蓄積は今始まったばかりです。以前の服部新聞で取り上げた北里大学の先生の研究にしても、ひとつひとつ検証データが発表されてくるのに時間が掛かります。正確な事が解るのは、これからなのです。

**プロの材木業者が本物と偽物の見分け方をお教えしますと、まず部材を手で叩きます。そしたら音が軽い場合、それは木の顔をしている偽物です。次にそれで解らなかった場合、目で見ます。余りに柄が揃いすぎている場合、それはエンビシートの石油製品です。大体この方法で本物と偽物は見分けが付きまます。**

戦後作られた家を例にあげる場合、所謂注文住宅を例にあげると誤解が生じるので、ここでは、一般の建売住宅を例にします。昭和40年から平成元年位迄の、建売住宅は、有機栽培系住宅でした。有機栽培系と呼ぶ根拠は、以下の通りです。構造材の柱は米ツガ、内装材の階段部材はラワン材です。その時代では一番値段の安い木材でしたが、全て無垢です。いわゆる有機栽培系住宅なのです。

しかし今盛んにテレビコマーシャルに出ている〇〇ホームの家は完全な農薬系建築です。柱も接着剤の塊で出たエンジニアウッドと言う偽物の木材、内装材も木材の模様をしている石油製品で出来ているのです。この〇〇ホームの家は、ぱっと見だけ良いのです。お風呂にテレビが付いたりして目新しさを訴えているだけで本当に人の住む家なのか不思議に思います。木材なんか全くと言っても可笑しくない位、使っていません。石油製品の家(農薬系住宅なのです)確かにVOC規制はクリアーしています。しかし完全に人間だけでなく、地球の生態系に対して100%安心出来るのかの問いには食べ物の様に、『安い食材より安心出来る食材』はいかないと思います。

又逆の言い方をすれば〇〇ホームの社長は、本当の家は、木材を多く使わなかったら出来ないが、そうすれば自分の商いの儲けが少なくなると解っている筈です。そうでなければ、倍々ゲームで会社は大きくなりませんし、有名芸能人でコマーシャル流せません。おそらく自宅は、木材を豊富に使っている凄く良い有機栽培系住宅に住んでいると思います。この〇〇ホームの社長の自宅が、自分が販売している物と同じ物で出来上がっているのなら消費者も納得させられるかも知れませんが、絶対自宅は、豪華賢覧に木材を使っていると想像します。

参考2・無肥料栽培は有機農業を完全に否定するものでは有りません。ただ有機肥料には化学成分とは違う特徴が有り、土と調和させる方法が非常に複雑でそれを確り把握していかないといけないのです。ただ単に無肥料にしたら良いのではなく、肥料を入れなくても作物がのびのび成長できる環境作りがいかに出来るかが大切です。それは施肥という外力ではなく自然本来の力(地球と土の内力)に気づくこととなります。



何故、一般の消費者の方々は無機栽培の食材と無垢の木材を同じレベルで考えてくれないのでしょうか。食べ物は、少し高い値段でも買うのに、建築に使う部材は、少し値段が高いという理由だけで、無垢の木を使わないのは、余りに理不尽では有りませんか！この様な事を含めてお施主さんに説明していく事が、建築業界に携わる人の責任だと思えます！

## 新商品紹介

### 環境商品—— 物を大事にする方へ（コーティング無機塗料）

大変面白い商品に出会いました。この商品は、完全な無機塗料です。しかも有機素材にも塗れるのです。こう言う説明でした。そして一般に普通の塗料は、〇〇系とうたっていますが、この塗料は完全な無機塗料と言うのです。それでは成分は何ですか？と聞きますと、ケイソつまりガラスで出来ていると、仰るのです。

普通塗料は、有機が当たり前です。有機には自然塗料と化学合成の塗料が有ります。そして自然塗料は環境には非常に優しいですが値段は少し高く付きます。化学合成の塗料は、値段は安いですが環境には、すこし問題は有ります。この塗料の特徴は自然塗料の弱点を補強する事ができる事です。実話にてバブルの当時、車のマニアの人が、ボディに漆を塗ったのですが、走り回るとすぐに、ボディの漆にキズが付いてしまって、嘆いてしまったと、漆塗りの名人から聞いた事が有りました。その当時この無機塗料が有ればその車の

オーナー様はどんなに喜んだか解りません。それはこの無機塗料は車のボディをキズから守る性質が有るのです。こんなに難しい物に塗れるのですから、他の素材に塗る事は容易いことです。

この商品はあらゆる物のライフサイクルを長持ちさせ、資源、環境問題をクリアした凄い商品なのです。

弊社は、色んなジャンルのお客様を持っています。第九号で取り上げた『家族が集まるキッチンを作っている』家具メーカー様に試験をお願い致しました。家具メーカーは、凄く塗料の知識は有るのですが、この塗料は知らないと、仰っていました。是非早急に、手配して欲しい。是非試したいとの事でした。この家具メーカー様は無垢のキッチンを作る場合、水周りの処理は非常に気を配って仕上げしていますが、もっともっと商品の品質向上をこの商品で可能かを、確かめたいと言う意向なのです。

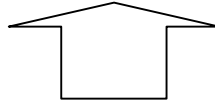


## 緊急

服部新聞 12月号にてアンケートにてお知らせしました勉強会（原木の製材）の日程をお知らせします。

平成十九年二月三日午後一時より開催します。お時間の許せる方は別紙に記入の上ご連絡下さい。





**FAX番号072-422-8577**

アンケート

Q 1、 勉強会（原木の製材）の催しを平成 19 年 2 月 3 日の午後一時より行います。  
参加できる方は、ご連絡下さい。

はい

いいえ

Q 2、 Q 1 ではいとお答えした方に。

参加される人数を御知らせ下さい。

—————名

御社名	
ご担当者名	
電話番号	
FAX番号	

株式会社 服部商店  
大阪府岸和田市木材町16-1  
TEL 072-438-0173  
FAX 072-422-8577  
担当 服部雅章